

広報



かたひがと

No.232

昭和57年

9月

健康で文化の香りただよ村

□発行 新潟県潟東村役場

□編集 総務課

祝 第27回 成人式



《村の動き》人口 男3,092(+5) 女3,204(+3) 合計6,296(+8) 世帯数1,190(±0) 7月31日現在

第六回

湯東村おまつり広場

ふるさとをみんなで作ろう、帰省者にふるさとの思い出を、と、第六回おまつり広場が、八月十五日、十六日の両日行われました。

十五日の前夜祭は、中学校バンド部の演奏とカラオケのどじまん予選会が、村民体育館建設予定地の特設ステージにおいて、行われ、大花火大会では大小百四十七発の花火とスターマイン十発が夏の夜空を彩りました。

十六日の当日は、朝から降ったりやんだりの雨模様。ちびっこ相撲大会は雨のなかで開催されましたが、民謡流しは中止され、ちびっこクイズ大会とカラオケのどじまん大会は会場を改善センターに変更して行われました。

恒例となったカラオケ大会は、歌手のしほぎ愛さんを司会に招き、前日の予選を勝ち抜いた十五組が自慢のどを競い合いました。

カラオケのどじまん大会結果
カラオケ大賞 幡本 晴美(井 随)
熱演賞 袖山 昭一(五之上)
歌唱賞 渡辺ミヤ子(横 戸)
特別賞 渡辺 紀子(島 方)
努力賞 水野いたる(卯八郎)

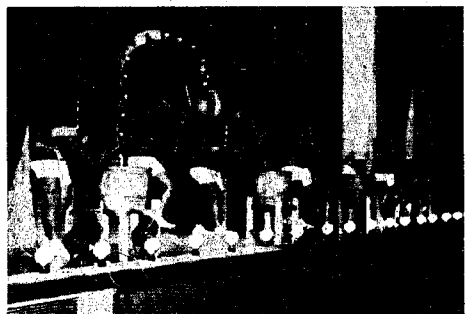
大賞の幡本さんと司会のしほぎ愛さん



夫婦で熱唱!! 白倉夫婦(大原)



湯中プラスチックバンド



湯東太鼓

▲ちびっこすもう大会、
雨のため個人戦が中止され、団体戦ではどろんこになっての大相撲でした。
団体戦結果
優勝 国見・南子供会
2位 大曾根子供会
3位 番屋子供会



湯中バレー部健闘 県大会準優勝

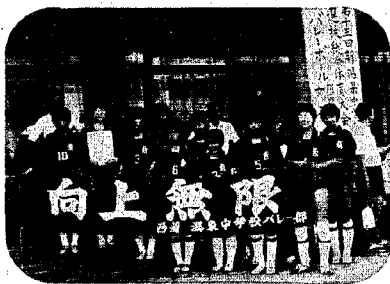
七月二十七、二十八日の両日、第十三回県中学校選抜総合体育大会が開催されました。

湯東中学校は、北浦水原町総合体育館での女子バレーボールに出場し、みごと準優勝をし北信越大会にコマを進めました。

郡大会、地区大会をみごとを成績で勝ち抜いてきた湯東中バレーボール部は、二十七日の予選トナメントを順調に勝ち進み、二十八日の決勝リーグに進出しました。決勝リーグでは地区大会で敗戦した、村松町立山王中には二一〇と快勝したものの、北浦豊浦町立豊浦中に接戦の末一一で敗れ、

小千谷市立片貝中と北信越大会出場権をかけた試合には、二一一と勝ち、県大会準優勝に輝きました。北信越大会は、八月五日長野県戸倉町で五県から十二チームが参加して、行われました。

一回戦は、長野県の戸隠中と対戦し、フルセットの末二一一で勝ち、二回戦は、石川県鹿西中と対戦したが、残念ながら〇一一で敗退しました。



湯中バレーボール部員



湯中バレー部

コーチ

石川 光信さん (三方)

中学校バレー部のコーチを引き受けて七年目、色白でやさしい目の四十一才の石川さん。一度コートに立てば生徒を見る目は輝き眩しい。中学時代はバレー部に席を置き、青年時代はバレー部で活躍、青年のコーチ、婦人バレーのコーチとまさしくバレー一筋でした。中学校のコーチになって、せめて郡の大会で勝ちたいのが夢だったという。石川さんに今年県大会二位になれたのは?と聞くと、「とにかくすばらしい子供たちに恵まれて」と言う。

御挨拶

収入役 中沢司郎

このたび村長さんが至らぬ私を収入役にご推挙下さいまして、村議会におかれましては、全会一致というこの上なく光栄なご同意を賜りました。まことに身にまはること、謹んで拝受申し上げます。次第でございます。

この責任の重大さを常に念頭に置き、先輩先人各位の御導きと、職員皆様の一層のご協力をいた



収入役

人事異動

八月二十七日付で、役場の人事

- 異動がありましたのでお知らせします。()は旧課
- 総務課長 坂井 舜
- 建設課長 穂苅 一雄 (建設課長)
- 建設課 三宮四郎 (同課長補佐)
- 学校給食 (学校給食共同調理場) 長沼博明
- 共同調理場 (保健衛生課) 小林ヤス子
- 保健衛生課 (産業課)
- 産業課 幡本洋子 (会計課)

成人おめでとう

第27回の成人式が八月十五日、環境改善センターで行われました。今年成人をむかえられた若者は、一〇三名。

式では新成人を代表し、井隨の赤塚綾子さんが、「私達は、自分のおかれた立場で最善をつくし、自立の精神を養い自己を確立し、常に平穏な気持ちを忘れず、心豊かな人生を歩み、平和な社会の建設に努力します」と成人の誓いを述べました。

幸多かれ

小島 悟(三才)



「成人の誓い」を述べる赤塚さん

これから自分がどう生きていくべきか、ある程度自分の人生の計画を立てられる時期、それが今ではないだろうか。今までは楽しくおかしく、自由勝手手気ままに生きて来て、先のことなどまったく考えもしなかった。考えたとしても、せいぜいどこそこに行つて暮らしたい。ああゆうのになれたらいいなあとか、はたま、明日は明日の風が吹くといったくらいのものではなかっただろうか。たしかに人生というの何が起こるか分からない。一寸先は



祝

をになう若い世代としての楽しく、つらく長い人生の始まりである。世間の渦に巻き込まれることなく、自分の立てた目標に向かって確実に

年金コーナー

年金額が改定されました

消費者物価の上昇(四%)に応じ、年金額が次のように引きあげられました。改定は、

● 拠出年金 昭和57年8月から
● 福祉年金 昭和57年9月から

年	度		56	57
	老 齡 年 金	40年納付	869,300	904,800
	25年納付	543,300	565,500	
	20年納付	476,700	496,100	
	10年年金	343,500	357,500	
	5年年金	292,400	304,300	
通算老齡年金	1年納付	21,800	22,700	
	5年納付	108,700	113,100	
	10年納付	217,300	226,200	
障 害 年 金	1 級	675,900	703,500	
	2 級	540,700	562,800	
母 子 年 金	母子加算180,000円がついた場合	720,700	742,800	
準母子年金				
遺 児 年 金 (子供1人の場合)		540,700	562,800	
寡 婦 年 金 (共20年加入の場合)		217,300	226,200	

年	度		56	57
	老齡福祉年金	扶養義務者の年取6人世帯50万円未満	288,000	301,200
扶養義務者の年取6人世帯50-87万円		276,000	279,600	
障害福祉年金	1 級	432,000	452,400	
	2 級	288,000	301,200	
母 子 福 祉 年 金		374,400	392,400	
準 母 子 福 祉 年 金				

くわしいことは、役場へお問い合わせください。

樋口君、最優秀に輝く!!

―第三回少年の主張 西蒲、燕地区大会―

青少年健全育成の一環として、西蒲、燕地区広域青少年対策推進協議会主催の、第三回新潟県少年の主張―西蒲、燕地区大会が、八月二十八日吉田町立吉田中学校において行われました。

この大会で、三方の樋口 博君(潟中二年)が「障害者に愛の手を」という題で発表を行い、見事最優秀賞に輝き、西蒲、燕地区代表として県大会に出場します。

「障害者」に

愛の手を

潟東中学校二年

樋口 博

ぼくの心が一転して快晴のような気持ちになったのは、つい最近のことでした。世界の障害者に愛の手をさしのべようという運動がくり広げられてからです。それまでというのは、ぼくの心は鉛色でした。小さい時は、よく姉のこと

が心配でたまりませんでした。「今日も姉ちゃんが泣かされているかなあ」と姉の様子を見守つたりしたものでした。ぼくの姉は、脳性小児まひで、左半身が不随の障害を持っています。その為、左手の手は思うように使えず、歩く格好もみばが悪く、さっそうとは歩けません。そこへもつてきて、交通事故に合い、知能の遅れもあり、どう見ても人並みとは言えない身体です。そんな状態ですから、本人はもちろんの事、家族の苦労は、並たいていのことではありませんでした。それにもかかわらず、他人の視線や言葉は冷ややかで、いつもい言葉は、「小児まひがいた。小児まひがいた」と馬鹿にして、姉を悲しませるのです。それだけで満足しないワザは、「なあ、寿美子の弟らう、そぼくんをや」とか、「博のそば行くな、しょんべんかぶれになる」とか、ありとあらゆる罵声を浴びせて、得意顔なのです。身体の不自由な姉がいるというだけで、ぼくにまでそのとぼつちりが飛んで来るのですからたまりません。でも、ぼくより悲しみが大きいのが、母かもしれません。「今日も姉ちゃん

泣いていたよ」と聞かされた時の母の目は、熱い涙がこぼれそうな位、たまっているのです。それを知らずに追いつちをかけるように、「今日はとてもいやな思いをした。姉ちゃんなんか、うちにいねばいいんだ」と言つて母を困らせた事がありました。神様はなぜ平等で健康な身体を貸して下さらなかったのでしょうか。この様に同じ人間でありながら、身体に障害があるからということ、なぜこんなに冷酷な差別をされるのか、ぼくの悩みはしばらく続きました。障害者だつて一生懸命に生きようとしているのに、手が不自由だから、知能が遅れているからという、たったそれだけの理由で特別視されてきた姉が、とてもかわいそうだとたまりませんでした。法の下では、「人間は平等である」といわれていますが、世間一般のあいだでは、障害者を理解してくれている人の数が少ないように思えます。姉の誕生については健康で五体満足な身体で、発育も順調な赤ちゃんだったのですが、ある日、突然、高熱を出し、生死の境をさまよつて、ようやく小さい命をとりとめたのだそうです。赤ちゃんの時、必死で生き抜いたのですから「よく頑張つたネ」と激励の言葉のひとつもかけてあげたいものです。あの高い熱さえ出なかつたら、まともに高校生になつていたと思います。今は中学校を卒業し、おこずかい程度の給料をもらえる会社に入社しました。それまでに母の苦労は一言でこの紙面に書き表すことが出来ない苦勞の足跡がありました。不自由な身体のお姉さん、三つ違ひのぼくの手をひいて、病院へ通つた足りでも大層重かつたと思う。人間、誰だつて健康な身体で生れたかと思ひます。人間はこわれたおもちやを治すようなわけにはいかなのです。また、氣にいらぬおもちやなら捨ててしまふことも簡単に出るでしょう。しかし人間はこわれていても、悲しみをこらえ、雲の切れぬから、こもれる光に祈をかけて、必死に生きようとしているのです。「愛は地球を救う。まさにそのとおり、障害者の人たちは、あたたかい愛情が必要なのです。えらそうなことを言っているぼくも姉に対して、親切でなかつたかも

に一步一歩前進していきたいと思う。多くの仲間と共に。我らの未来に幸多かれ。

青少年海の集いに参加して

赤塚 孝

県教育委員会主催で高校生を対象とした「青少年海の集い」が、八月三日〜七日まで、北海道を会場にして行なわれました。これは、集団宿泊研修を通じて、高校生の社会参加の在り方や団体活動のリーダーとしての資質を高めるために毎年行われているものです。

この貴重な体験を生かして、地域活動のリーダーとして活躍することを期待しています。

八月四日、いよいよ憧れの北海道です。

オープンタイムには、北海道を背に、いろんな写真を撮ったり、デッキで広い海をながめたり、県内の各地から集った友達とおしゃべりをしたりして楽しく過ごしました。

実習活動では自分の地域の説明とか、学校での悩み等を話し合っ

海の集いは県下の高校生対象で、78人が選ばれました。最初に山の小学校で顔を合わせたときは、右を向いても左を向いても知らない人ばかりで、「うまく生活できるかなあ」と内心、心細くて、第一日は、ほとんど話しませんでした。ところが、三日目ごろになると昔何にも気使ひなく話せるようになり、一二年と学年に幅があっても、そんなことは気にしなくなりました。最終日までは、大多数の人と友達になり、地域も

ているうちに、いろんな考え方やその人の個性などを少しずつわかり合えて、みんなさすが高校生だけあるなあと思心することが多かったです。

別実習では、私はボランティアのテーブルサート班、ボランティアについては身体障害者の人達との接し方等を中心に勉強し、話す時は必ず目の高さを同じにして目を見ながら話すとか、目の不自由な人が道等でこまっていたら、横

にならんで軽く手をくんで説明しながら歩く等……。

身体障害者の人達は、目が悪くても声の調子などで相手の機嫌がわかるとか、耳が聞こえなくても相手の目を見ると何がしたいのかわかるとか、とても感受性が強いのだそうです。私は、ボランティアについてたくさん学ばれました。そして、将来ボランティア関係の仕事に一生を尽くすことができたならどんなに良いでしょう。

村上から糸魚川とても広範囲にわたるようになりました。

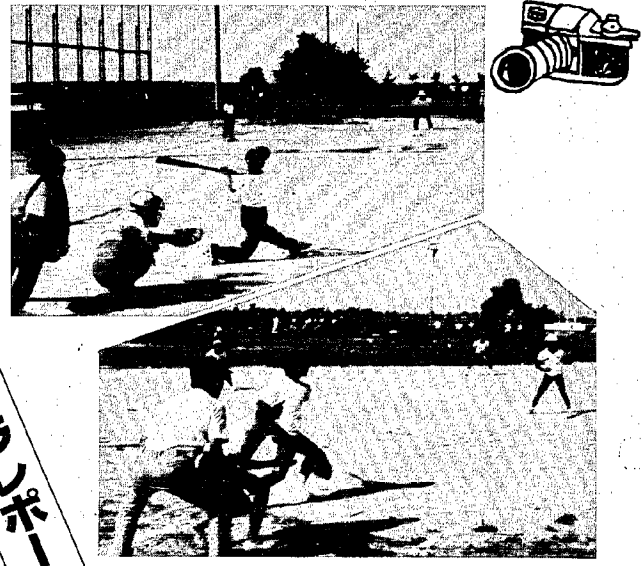
研修のほうは、アドバイザーの人達は大変経験が豊富で、とてもためになる話しをしてくださいましたし、とても熱心に指導してくれました。キャンプの方でも、予定より時間がたつりませんでした。そんな中でよいキャンプファイヤーを行おうと、アドバイザーの人は、一生懸命プログラムを組んでくれました。

この研修はとても役に立ち、楽しかったです。先に書いたように友達もできました。また、指導者の熱心な態度には感心しました。

この研修はとても役に立ち、楽しかったです。先に書いたように友達もできました。また、指導者の熱心な態度には感心しました。

献血に御協力ありがとうございました S57.8.6

子修義	代子子義子健健哉男夫一夫一合孝
雅一	和美千則昌 静照武誠貞文小
野桑田	村辺井田藤部嵐川藤原田井辺本原原
津設吉	町田平武佐阿五笹伊桑梅筒渡梨大大
他	
美雄義	志 幸代ミ夫子 一 郎子
文岩正	潔 杉静ツ幸愛 久 司裕
島山川村	名山 井口中林口藤 見藤保保
赤袖長田	称 袖 今 樋田小樋伊 国 佐山山
大	大曾根甲
雄市子美雄一子幸幸子	留美子功等男夫 美幸
一勝朝初久才祥幸徳知	留美子功等男夫 美幸
荻原越沢川井谷山山原	原田崎内内野 屋内田
穂田大成笹富大袖丸笠	大 島笹竹竹岩 番 竹関
紀修征委子夫二え子明泰	子学美浩孝 仁
正米 才哲謙ゆ弘忠	朝 富康 士
川中川中井 田田田井	藤田野野原本 上林
笹田長田田坂星藤池藤坂	遠 武星星曾岡 五 之神
一治恒智恵	男子史昭ツ 雄雄リ彦ヨ一衛
昌信 保 幸恵博イ	時松ユ克チ吉伝
林柳 藤林 方田沢木井斐	戸沢保沢井林野井
小青旭佐小	三 土西広石揖 横 深古深坂小岩坂
枝美子子雪市一直夫美晴子	次美文字郎イ
久晴洋正美真昭正利隆康洋	栄直博正助ミ
随塚本口林辺沢木谷山本本本	方木林間林林中
井 赤幅山小渡稲青大皇幡幡幡	高小本小小田



▲東小に栄冠 小学校対抗球技大会

毎年恒例の少年少女球技大会が、八月十日中学校グラウンドにおいて行われました。

男子は野球、女子はソフトボールと、夏の暑い日さしのなかで元気いっぱいプレーをしていました。結果は、男女とも東小が二勝して優勝。以下南小、西小の順でした。

▼A級優勝は 坂井さんに!!

去る八月十六日、日本将棋連盟の原田泰夫さんを迎えて、濁東村近郷将棋大会が、村内外から五十名が参加して行われました。

- A級
- 一位 坂井 律夫
 - 二位 阿部 孝雄
 - 三位 水間 信雄
- B級
- 一位 大谷 勉
 - 二位 藤井 誠
 - 三位 小田 利信
- C級
- 一位 宇佐美 昇
 - 二位 頼所 清
 - 三位 古俣 松雄



カメラレポート



村民野球大会結果

(公民館主催)

- 一部トーナメント
 - 優勝 三方サニーズ
 - 準優勝 遠藤メッツ
 - 敢闘賞 今井クラブ
- 二部トーナメント
 - 優勝 島方クラブ
 - 準優勝 井随ロイヤルズ
 - 敢闘賞 遠藤フェニックス
- 三部トーナメント
 - 優勝 農協
 - 準優勝 島方エース
 - 敢闘賞 卯八郎

人間ドック(一日ドック) 実施について

村では働きざかりの年齢層を対象として、一日人間ドック(健康診断)を行い、健康を確かめてもらうため(又は早期治療のため)、次のとおり実施いたしますので、希望者は申込まれますようお知らせします。

● 実施日、人員

- 十月四日 十五人
- 十月六日 十五人
- 十月八日 十人

● 対象者

● 申込期限、場所

九月十六日、保健衛生課

● 検診料金

一四、〇〇〇円(二八、〇〇〇円のうち、半額の二四、〇〇〇円を村で補助)

● 実施委託医療機関

岩室温泉病院

● 申込期限、場所

九月十六日、保健衛生課

※詳細は申込み後連絡いたします。申込み者多数の場合は、申込み順に決定させていただきます。

お知らせ

29 30日	29日	28日	27日	26日	16日	15日	14日	9月 8日	月 日
水・木	水	火	月	日	木	水	月・火	水	曜日
胃部検診	風しん予防接種	再生会運動会	乳児検診	貧血検査	三種混合(一期一回目)	敬老会	結核検診(レントゲン)	小学校体育祭	行事
改善センター	中学校(中三女子)	改善センター	改善センター	大曾根公民館	改善センター	改善センター	改善センター	中学校グラウンド	場所

9月分番組編成表

日	曜	番組名	放送題名	放送者(所属)
2	木	健康カレンダー	丈夫な子を産み育てるために	役場保健衛生課
4	土	農村アンテナ	秋野菜の初期管理	巻農業改良普及所
7	火	農協だより	総合口座推進について	農協金融課
9	木	村民アワー	秋の交通安全について	役場総務課
11	土	福祉の窓	敬老会について	役場住民福祉課
14	火	農村アンテナ	農繁期を健康に	巻農業改良普及所
16	木	農協だより	農協観光ガイド	農協経済課
18	土	税金コーナー	税のママ知識	役場税務課
21	火	お茶の間広場	青年交歓会から	青年団
23	木	農政ガイド	坪刈結果について	役場産業課
25	土	明るい村	村民大運動会	公民館
28	火	農協だより	米の集荷状況の報告について	農協経済課
30	木	話しのサロン	私の随想	横戸 水野一郎

外 科

- 5日 県立吉田病院
☎吉田②5111
- 12日 大原診療所
☎濁東 2037
- 15日 柿原医院
☎分水⑦3128
- 19日 県立吉田病院
☎吉田②5111
- 23日 本間医院
☎分水⑦2350
- 26日 町立巻病院
☎巻 ②3111

内 科

- 5日 大越医院
☎巻 ②2707
- 12日 荻部医院
☎西川 2057
- 15日 西川医院
☎巻 ②6066
- 19日 長沼医院
☎巻 ②2210
- 23日 本田医院
☎巻 ②2100
- 26日 遠藤医院
☎西川 2204

九月休日救急当番医

秋の交通安全運動

9月21日～30日

9月21日から10日間、全国いっせいに秋の交通安全運動が実施されます。この機会に、それぞれの立場から安全運動に参加しましょう。

◎ 交通安全を語ろう!

特に、こどもの交通安全は家庭からと言われます。確かに学校や保育園等においても交通安全の指導はしていますが、家庭生活の場は実践指導の機会がたくさんあります。こどもに交通规则が正しく身につくか、つかないかは家庭での指導が鍵です。

◎ 自転車の正しい乗り方を身につけよう!

こどもさんのほとんどは、将来のドライバーです。

自転車の正しい安全な乗り方の指導は、その意味で良いドライバーの基礎づくりになるわけです。ブレーキのかけ方、合図の方法、しかた、通行区分、交差点の曲り方などについて指導し、お父さんの検定に合格したら道路に出すのも一つの方法です。

◎ シートベルトの着用を!

シートベルトをつけると「肩がこる」とか「ハンドル、ブレーキ操作がよくできない」とかいますが、これは理屈です。

シートベルトをつけると確かに心がひきまわり、自然に安全運転になります。

～シートベルト着けるゆとりが身を守る～
シートベルトを着ける習慣を身につけましょう。

田達忠一郎 75才 横戸乙
大谷 清吉 86才 五之上

おくやみ

大谷 雄一 勝之井 随
鷲尾 直哉 勝之井 随
河合菜莉子 勝之井 随
山口 勝也 喜信 熊谷
旭 哲 恒 山口新田
大谷 留美 豊成 五之上
渡邊 慎也 一篤 水沢新田
赤塚 真也 清三郎 井 随

おんこえ